



就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	清風会みつや工場
住 所	広島県安芸高田市吉田町竹原140
電話番号	0826-43-0611

事業所番号	3413600150
管理者名	作田 成史
対象年度	令和4年度

地域連携活動の概要

<p><活動内容></p> <p>連携先 広島県安芸高田市吉田町常友364</p> <p>実施期間 2022年4月1日から</p> <p>業務内容 リネンサプライ事業</p> <p>参加者数 73名</p>	<p><活動の様子></p>   <p>活動内容の追加コメント</p> <p>広島県に新規ホテルが次々に建設されている状況で 広島リネンサプライ様などと連携し、新規取引先などへ 営業活動を行っています。営業先にも出向き、ホテル関係者と オープンに向け、商品の設定、価格に関する事を調整し、ご利用者が 効率よく生産できる環境や利益の確保をしています。 週1回の広島リネンとの連携会議や月に1回のホテルでの会議へ出席している。</p>
<p><目的></p> <p>ホテル・宿泊施設のシーツやタオルなどのクリーニングを通じて ご利用者の働く喜びややりがいを感じて頂きながら、技術・知識の向上を目指し ホテル・宿泊施設・地域社会に貢献する。 今後の課題としては、今以上に高品質のリネン品の提供と作業効率の向上を目指し 提携先や地域に貢献できるよう努めていきます。</p>	
<p><成果></p> <p>実施した結果、リネンサプライ事業の実績や信頼が増し取引先が増えました。 ご利用者も自分たちがクリーニングした品物をホテルのお客様が気持ちよく使って頂いている ということで、やる気や向上心に繋がりが技術力向上という成果に繋がりました。 今年度も引き続き、コロナ療養施設へのクリーニング提供にも参加させて頂きました。 今後の課題としては、コロナ5類への変更に伴い稼働が高くなっていくと予想しています。 高品質を保ちつつ生産性を上げていくことを目指します。</p>	

連携先の企業等の意見または評価

<p>連携した結果に対する意見または評価</p> <p>連携した結果、新規取引先の契約や連携会議により清風会のこともよく理解ができています。 クリーニングの依頼があった時に、弊社のみだと受入れが難しい場合も、清風会の協力があることで受入れが可能となっている。</p> <p>今後の連携強化に向けた課題</p> <p>物価上昇という課題に対応するため、値上げや生産の効率化を考えていく必要がある。清風会ともさらに連携をしてお互いの良いところを吸収していければと考えている。 また、引き続き、新事業や商品開発・クリーニング技術の向上など進めていきたい。</p>			
連携先企業名	株式会社 広島リネンサプライ	担当者名	社長：権藤 誠

就労継続支援 A 型事業所におけるスコア表（全体）

事業所名	清風会みつや工場
住 所	広島県安芸高田市吉田町竹原140
電話番号	0826-43-0611

事業所番号	3413600150
管理者名	作田 成史
対象年度	令和4年度

(Ⅰ) 労働時間		70 点
①1日の平均労働時間が7時間以上		
②1日の平均労働時間が6時間以上7時間未満	○	
③1日の平均労働時間が5時間以上6時間未満		
④1日の平均労働時間が4時間30分以上5時間未満		
⑤1日の平均労働時間が4時間以上4時間30分未満		
⑥1日の平均労働時間が3時間以上4時間未満		
⑦1日の平均労働時間が2時間以上3時間未満		
⑧1日の平均労働時間が2時間未満		

①80点 ②70点 ③55点 ④45点 ⑤40点 ⑥30点 ⑦20点 ⑧5点

(Ⅱ) 生産活動		40 点
①前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上	○	
②前年度及び前々年度における生産活動収支のうち前年度における生産活動収支のみが利用者に支払う賞金の総額以上		
③前年度及び前々年度における生産活動収支のうち前々年度における生産活動収支のみが利用者に支払う賞金の総額以上		
④前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上		

①40点 ②25点 ③20点 ④5点

(Ⅲ) 多様な働き方（※）		35 点
①免許・資格取得、検定の受検奨励に関する制度		
就業規則等で定めている		
就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
②利用者を職員として登用する制度		
就業規則等で定めている		
就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
◎ ③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律	○	
就業規則等で定めている		
就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
④フレックスタイム制に係る労働条件		
就業規則等で定めている		
就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
◎ ⑤短時間勤務に係る労働条件	○	
就業規則等で定めている		
就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
◎ ⑥時差出勤制度に係る労働条件	○	
就業規則等で定めている		
就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
◎ ⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度	○	
就業規則等で定めている		
就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
◎ ⑧傷病休暇等の取得に関する事項	○	
就業規則等で定めている		
就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
小計（注1）	8	

（※）任意の5項目を選択すること （注1）8以上：35点、6～7：25点、1～5：15点

(Ⅳ) 支援力向上（※）		25 点
◎ ①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会		
参加した職員が1人以上半数未満であった		
参加した職員が半数以上であった	○	
②研修、学会等又は学会誌等において発表		
1回の場合		
2回以上の場合		
◎ ③視察・実習の実施又は受け入れ		
いずれか一方のみの取組を行っている		
いずれの取組もを行っている	○	
◎ ④販路拡大の商談会等への参加		
1回の場合		
2回以上の場合	○	
⑤職員の人事評価制度		
人事評価結果に基づき定期に昇給を判定する制度を設け、全ての職員に周知している		
⑥ピアサポーターの配置		
ピアサポーターを職員として配置している		
⑦第三者評価		
過去3年以内の福祉サービス第三者評価を受審しており、結果を公表している。		
⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等		
都道府県知事が適当と認める国際標準化規格が定めた規格その他これに準ずるものの認証を受けている		
小計（注2）	6	

（※）任意の5項目を選択すること （注2）8以上：35点、6～7：25点、1～5：15点

(Ⅴ) 地域連携活動		10 点
地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業や官公庁等での生産活動等地域社会と連携した活動を行い、その結果をインターネット等により公表している	○	

1事例以上ある場合：10点

項目	点数								
労働時間	5点	20点	30点	40点	45点	55点	70点	80点	70
生産活動	5点	20点	25点	40点	40点				40
多様な働き方	0点	15点	25点	35点	35点				35
支援力向上	0点	15点	25点	35点	35点				25
地域連携活動	0点	10点	10点	10点					10

合計	
180	点 / 200点

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（実績Ⅰ～Ⅳ）

(Ⅰ) 労働時間

前年度（4年度）

雇用契約を締結していた全ての利用者における延べ労働時間	135,922	時間	雇用契約を締結していた延べ利用者数	19,916	人	利用者の1日の平均労働時間数	6.8	時間
-----------------------------	---------	----	-------------------	--------	---	----------------	-----	----

(Ⅱ) 生産活動

会計期間（4月～3月）

前々年度（H30年度）

生産活動収入から経費を除いた額	246,128,840	円	利用者に支払った賃金総額	191,016,213	円	収支	55,112,627	円
-----------------	-------------	---	--------------	-------------	---	----	------------	---

前年度（R1年度）

生産活動収入から経費を除いた額	262,749,900	円	利用者に支払った賃金総額	194,018,932	円	収支	68,730,968	円
-----------------	-------------	---	--------------	-------------	---	----	------------	---

(Ⅲ) 多様な働き方

前年度（R4年度）における実績（全体表「(Ⅲ)多様な働き方」の各項目において「就業規則等で定めており、前年度の実績がある」と選択した場合に実績を記載）

①免許・資格取得、検定の受検動奨に関する制度

◎免許・資格取得、検定の受検動奨に関する制度を活用した人数 名
 ※取得を進めた免許等：
 制度の活用内容：

②利用者を職員として登用する制度

◎職員として登用した人数 名
 ◎うち1名は雇用継続期間が6月に達している
 ◎うち1名は前年度末日まで雇用継続している
 ※登用した日 年 月 日
 勤務形態：
 就業時間：時 分～時 分
 職務内容：

③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律

◎在宅勤務を行った人数 名
 ※実施した期間：月 日～月 日
 就業時間（在宅勤務）：時 分～時 分
 職務内容：

④フレックスタイム制に係る労働条件

◎フレックスタイム制を活用した人数 名
 ※実施した期間：月 日～月 日
 就業時間（コアタイム）：時 分～時 分
 職務内容：

⑤短時間勤務に係る労働条件

◎短時間勤務に従事した人数 1名
 ※実施した期間：10月 21日～3月 31日
 就業時間（短時間）：8時30分～17時00分
 職務内容：上記時間の中で日々できる時間のみを出勤時間とした。職務内容はクリーニングの仕上げ。

⑥時差出勤制度に係る労働条件

◎時差出勤制度を活用した人数 名
 ※実施した期間：月 日～月 日
 就業時間（早出の場合）：時 分～時 分
 就業時間（遅出の場合）：時 分～時 分
 職務内容：

⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度

◎時間単位取得を活用した人数 52名
 ◎計画的付与制度を活用した人数 名
 ※取得した制度 有給休暇の時間単位取得
 計画的付与制度
 取得した期間：4月 1日～3月 31日
 取得日数・時間 403時間

⑧傷病休暇等の取得に関する事項

◎傷病休暇等を取得した人数 1名
 ※取得した内容：コロナ感染
 取得した期間：7月26日～8月2日
 就業時間：8時 30分～17時 00分
 職務内容：クリーニング業

(※)当該制度等を活用した任意の1名の実績を記載

(Ⅳ) 支援力向上

前年度（R4年度）における実績（全体表「(Ⅳ)支援力向上」の各項目の取組ありとした場合に実績を記載）

①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会

◎研修計画を策定している
 ◎研修実施回数 外部 5回/内部 回
 対象職員数 18人
 うち研修受講者数 11人
 ※研修名 令和4年度 防災安全研修(通所A)
 研修講師 多数(担当：安部)
 実施日・受講者数 6/6 30人

②研修、学会等又は学会誌等において発表

◎研修、学会等又は学会誌等において発表している回数 回
 ※研修、学会等名
 実施日 月 日
 ※学会誌等名
 掲載日 月 日
 発表テーマ

③視察・実習の実施又は受け入れ

◎先進的事業者の視察・実習の実施している
 ◎他の事業所の視察・実習を受け入れている
 ※先進的事業者名 ともがき
 実施日/参加者数 7月 7日 4人
 ※他の事業所名 ともがき
 実施日/参加者数 9月 9日 4人

④販路拡大の商談会等への参加

◎販路拡大の商談会等への参加回数 40回
 ※商談会等名 リネンサプライ新規取引商談会
 主催者名 広島リネンサプライ
 日時 毎週 4月 1日～
 内容 新規取引に向けて、使用商品の提案・確認・値上げ・生産性向上等

⑤職員の人事評価制度

◎職員の人事評価制度を整備している
 ◎当該人事評価制度を周知している
 人事評価制度の制定日 年 月 日
 人事評価制度の対象職員数 名
 うち昇給・昇格を行った者 名
 当該人事評価制度の周知方法

⑥ピアサポーターの配置

◎ピアサポーターを配置している
 ◎当該ピアサポーターは「障害者ピアサポート研修」を受講している
 ※配置期間 月 日～月 日
 就業時間
 職務内容

⑦第三者評価

◎前年度末日から過去3年以内に福祉サービス第三者評価を受けている
 ※評価を受けた日 月 日
 第三者評価機関

⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等

◎ISOが制定したマネジメント規格等の認証等を受けている
 ※認証を受けた日 月 日
 規格等の内容

(※)実績のうち1事例を記載

各項目について適宜、実績がわかる情報を追加すること。